



# はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

## 横浜医療センターの理念

私たちは人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供するとともに、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者の皆様がより良い医療を受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



記事「第38回九都県市合同防災訓練」はP5に掲載



## 第58号 目次

特集 - 医師が語る疾患 -	1	行事紹介	5
第17回 化学療法センターについて		フィリピン国研修団訪問	
化学療法センター長 松田 悟郎		第38回九都県市合同防災訓練	
連載		地域医療連携	6
職員リレー紹介 第16回 ME室	2	外来担当医表／編集後記	7
お知らせコーナー			
横浜医療センター健康フェア	3		
(かかりつけ医をつくろうキャンペーン!) の開催			
市民公開医療講座			
行事紹介	4		
高校生一日看護体験を行いました			
第53回楓葉祭開催通知			

発行 月：平成29年10月  
 発行 行：独立行政法人国立病院機構  
           横浜医療センター 広報委員会  
 発行責任者：平原 史樹  
 住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2  
 電 話：045-851-2621  
 FAX : 045-851-3902  
 URL : http://www.yokohama-mc.jp



●当院携帯サイトはこちらから

# 特集－医師が語る疾患－

## 第17回 化学療法センターについて

化学療法センター長 松田 悟郎

化学療法とは、抗がん剤や分子標的薬を用いて行うがん治療のことで、手術療法や放射線療法とともに、がん治療の大きな柱の一つです。最近、外来通院で化学療法を行うことが多くなり、当院においても、2階に化学療法室が設置されています。11床のリクライニングシートと2床のベッドを用意、完全予約制で、くつろぎながら治療を受けられるようにテレビを完備しています。



リクライニングシート

現在は、がん患者さんだけでなく、膠原病やクローン病などの患者さんに対する分子標的治療の際も化学療法室を利用して頂くようになり、平成28年度は、のべ2181件の外来治療を施行しました。

化学療法は、患者さんにとって大変不安の大きい治療法です。そのため、治療開始前に、主治医だけでなく、専門薬剤師、がん化学療法認定看護師からも、薬剤の投与方法および副作用について、詳しいオリエンテーションを行っています。

治療当日は、診察前に採血とバイタルサイン測定、患者さんの訴えや症状の聞き取りを看護師が行い、その結果と診察を基に担当医が治療

の可否を決定します。

点滴治療中は、3人の専門看護師が担当し、安全・安心に治療が遂行できるよう配慮しています。

治療の副作用で、口内炎や味覚障害を認める場合は、早めに口腔外科を受診して頂き、うがい指導や内服薬処方、歯科治療を受けてもらっています。

食欲不振や食事に困っている方には、管理栄養士に直接相談できるようにしています。

がんによる痛みを伴う患者さんには、化学療法と並行して緩和治療を受けられるように、治療日に合わせて緩和外来を予約することが出来ます。

治療に伴う経済的な相談や、治療中の就労問題に関しては、1階の相談支援室で対応しています。

以上のように、化学療法を受けている患者さんが出来るだけ安心して、つらくなく治療が継続できるように、病院の多職種のスタッフが連携してチーム医療でサポートにあたります。写真は、患者さんに優しい、明るい化学療法室スタッフです。

化学療法室へのご質問、ご要望がございましたら、いつでもお気軽に化学療法室スタッフにお声をお掛けください。



化学療法センタースタッフ一同



## 第16回 ME室

こんにちは、ME室です。みなさんは“ME”をご存知ですか？

当院における“ME”とは、医学と工学の両面を兼ね備えた医療機器の専門医療職種である「臨床工学技士(CE：Clinical Engineer)」(国家資格)です。1987年以前は病院内の医療機器に携わる職種として「医用工学技士」を意味する“ME”：Medical Engineerがいました。現在においても、当院のみならず多くの病院でその呼名が残り、「臨床工学技士(CE)」は“ME”と呼ばれています。

ME室は建物の3階にあり、集中管理部長の下、臨床工学技士10名とME室助手3名の計13名体制で日々業務を行っています。

ME室の業務目標は、医師、看護師その他の医療関係職種と緻密なチーム連携を図り、生命維持管理装置を中心とした高度な医療機器の操作・保守管理を行っていきます。今後は、更なる高度化・複雑化した医療機器の増加が見込まれます。これらを踏まえ、日々みなさまからの要望と期待に応え、より多くの医療機器への安全性確保と有効性維持が図れるような業務体制の確立に努めていくことです。

ME業務の中心は、生命維持管理装置である人工心肺装置や血液浄化装置、あるいは心臓カテーテル治療・検査の際に使用される装置等の操作監視を行う臨床技術提供業務と、人工呼吸器や補助循環装置、更にその他汎用性の高い医療機器(生体情報モニタ・輸液ポンプ等)を安全かつ適切な使用ができるように保守点検・管理運用を行う機器管理業務です。

私たちMEは、ME室内のみならず一般病棟やICU(集中治療室)、手術室や心臓カテーテル室などで業務を行っています。ME室が管理する医療機器は院内の至る場所で使用されており、それら機器の操作や監視、点検や修理等を行うために、院内のあらゆる場所で業務を行っています。その他の業務としては、医療機器に係る安全管理のための体制確保や運用環境の整備等を行っています。その一部を紹介しますと、①医療従事者に対する医療機器の使用方法や安全性に関する事項等の研修の実施 ②医療機器関連企業からの情報の収集 ③医療機器の安全使用のための責任者である「医療機器安全管理責任者(集中管理部長)」の実務の実行などです。

これからも私たち『臨床工学技士』は、医師をはじめ看護師などととともに医療機器を用いたチーム医療の一員として患者さんをサポートしていくことに努めます。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



心臓カテーテル室と臨床工学技士による臨床用ポリグラフの操作・監視



ME管理機器の輸液ポンプと人工呼吸器等

# お知らせコーナー

## 横浜医療センター健康フェア(かかりつけ医をつくろうキャンペーン!)の開催

横浜医療センターは、地域医療支援病院として、必要な患者様に高度専門医療を提供することを目的に、地域医療機関(かかりつけ医)との役割(機能)分担を強化するため、平成29年度4月から全診療科において完全紹介制を実施しています。

そこで、当院の医療スタッフが、市民に対して健康に関するPRをするとともに、当院の機能を幅広く知ってもらえるよう「健康フェア」を開催します。

当院の専門スタッフによる、がん相談、栄養相談、健康相談などの各種相談コーナーや、市民の皆さんが今、どう病院・クリニックにかかるのがよいか、かかりつけ医が見つかるコーナーなどを設け、当院や医療制度を知っていただく機会としていきます。

日時：平成29年11月18日(土)13時～17時

会場：戸塚区総合庁舎3階 多目的スペース(大) JR・市営地下鉄 戸塚駅直結

内容：健康チェック・各種相談コーナー

かかりつけ医をつくろうキャンペーン(あなたのかかりつけ医が見つかる!)

## 市民公開医療講座

当院では、神奈川県がん診療連携指定病院として、地域の皆さまへ向けたがんに関する正しい知識の啓発・普及を目的に、最新の知見をもとに分かりやすくお話をする市民公開医療講座を開催しています。

今年度の第1回目(7月5日(水))は、当院外科の徳久医師による「がんの化学療法(抗がん剤)」と題し61名が参加、第2回目(9月7日(木))は、当院の根岸歯科口腔外科部長による「口腔がんと口腔ケア」と題し65名の方々にご参加をいただきました。

今後の予定ですが、今回は12月15日(金)15:00から、当院の野中消化器内科部長による日本人が最も多くかかる「胃がん」について、その予防から診断、治療に至るまで、最新の知見をもとにお話しします。また、翌2月27日(火)15:00からは、当院の消化器内科の内山医師による「大腸がん」をテーマにした医療講座を開催する予定です。場所はいずれも戸塚区役所3階多目的スペース(大)で開催します。詳しい申込方法等につきましては、当院ホームページほか、「広報よこはま」11月号等でお知らせをする予定です。

### 第23回市民公開医療講座

テーマ：胃がん

日時：平成29年12月15日(金) 15:00～16:30

講師：横浜医療センター 野中 敬 消化器内科部長

会場：戸塚区総合庁舎3階 多目的スペース(大) JR・市営地下鉄 戸塚駅直結

### 第24回市民公開医療講座

テーマ：大腸がん

日時：平成30年2月27日(火)15:00～16:30

講師：横浜医療センター 内山 崇 消化器内科医師

会場：戸塚区総合庁舎3階 多目的スペース(大) JR・市営地下鉄 戸塚駅直結

# 行事紹介

## 高校生一日看護体験を行いました

副看護部長 原田 美由紀

横浜医療センターでは、例年夏休みを利用して高校生一日看護体験を企画しています。目的は「高校生が看護師と一日行動を共にし、患者さんと直接ふれあい看護を体験することによって、看護に関心と理解を深める機会」となっています。今年度は7月25日に開催し、神奈川県内の高校生28人の方が参加して下さいました。

### 〈一日のスケジュール〉

時間	内容
9:00~10:00	受付・更衣
10:00~10:15	オリエンテーション
10:15~10:30	病院・看護部の紹介
10:30~11:00	看護学校紹介
11:00~11:30	病院見学、インフォメーション
11:30~12:00	健康チェック 自己測定
12:00~13:00	昼食
13:00~15:00	看護体験
15:00~16:00	意見交換・アンケート記入



〈健康チェック〉



〈意見交換会〉

病院を訪れるのが初めての高校生が殆どだったようで緊張されていましたが、白衣に着替え髪を整え記念撮影をした頃から皆さんの表情が和らぎ高校生同士の会話も聞こえてきました。将来は看護師希望の方が多く、看護学校の教育主事による看護学校紹介を真剣に聞いていました。院内見学では色々な職種の職員が仕事をしている様子を身近で見てもらいました。健康チェックではお互いに血圧・体温・酸素飽和度を測ってみました。皆さん、本日に向けて体調管理はばっちりだったようです。看護師にとって自分の健康管理が一番大事なことです。昼食後は、いよいよ病棟に行って看護体験。患者さんと話をしたり、車いすを押したり様々な経験をしてもらいました。2時間という短い時間でしたが、看護体験が終わる頃にはまるで看護学生の実習のような充実感で生き生きした表情でした。

最後に病棟看護師と共に意見交換会。「看護師の実際の仕事を知ることによって看護師になりたいという気持ちが強くなった」「勉強をするモチベーションが上がった」など頼もしい発言が聞かれました。看護師への夢に一步近づいてくれたのではないかと微笑ましく思いました。

### 〈アンケート結果〉

Q：参加して看護師になりたいと思いませんか？

	とても思う	思う	どちらともいえない
看護師になりたいと思ったか	20	5	3

## ●開催告知● 第53回楓葉祭

日時：10月28日（土）10:00~14:00 一般公開

場所：横浜医療センター附属横浜看護学校

内容：模擬店（カレー、豚汁、焼きそば、ワッフル、パン、ゲーム、バザー）

学習展示、看護技術体験（骨密度測定、手浴体験等）

皆様のご来場  
お待ちしております！



# 行事紹介

## フィリピン国の医師らが当院を訪問

庶務班長 佐野 浩士

平成29年8月1日(火)にフィリピン国マニラ首都圏の災害・救急医療支援に携わる医師や行政官が、当院を訪問しました。フィリピン国は世界有数の自然災害の被災国であります。当院を視察し、日本の災害・救急医療体制を学び、フィリピン国での災害・救急医療体制の整備に活かしてもらうことを目的としていました。

当院は、災害時の初期医療を提供するよう神奈川県から指定された災害拠点病院です。また、災害の発生直後に被災地での救急医療を行うDMAT (Disaster Medical Assistance Team) という専門チームの派遣も行っています。

当日は、救急科の宮崎集中管理部長より東日本大震災の経験を踏まえ、当院における災害時の医療体制等を講義し、院内施設の見学を行いました。訪問した医師からは、当院の救急医療における特徴・理解を深め、非常に参考になったとの言葉を頂きました。

今回の訪問がフィリピン国の災害・救急医療体制の構築に寄与し、フィリピン国の災害リスクが減ることを期待します。併せてフィリピン国と日本国との友好の一助になれば幸いです。



講義風景



施設見学風景

## 第38回九都県市合同防災訓練に参加して

ICU看護師 川上 泰史

9月1日の防災の日に、大規模災害時における、国・県内市町村及び県内外防災関係機関の相互連携を強化し、広域応援体制の確立を図るとともに、地震及び津波・火山等の県域特性に応じた災害対応力の向上を図る目的で、第38回九都県市合同防災訓練が開催されました。

当院よりDMAT-L (Disaster Medical Assistance Team-Local: 神奈川県災害派遣医療チーム) として、医師2名、看護師2名、業務調整員(救急救命士)1名が参加しました。

神奈川県に大規模地震が発生したという想定のもと、訓練は県内各地で行われましたが、私たちは海上自衛隊厚木航空基地の格納庫にSCU(Staging Care Unit: 広域医療搬送拠点)を設営し運営する訓練に参加しました。

県内DMAT隊、他県(千葉・東京・埼玉)DMAT隊、消防、自衛隊、在日米軍など様々な関係機関との連携をはかり、傷病者の受け入れから、航空機による県外の医療機関への搬送を実戦形式で行いました。航空基地内の格納庫での訓練のため、航空機の発着の際には騒音が大きく、他部門とのコミュニケーションの困難さを感じました。また、他県のDMAT隊は、航空自衛隊の輸送機を使用し実際に他県から参加するなど実践に近い形での訓練になりました。慌ただしく傷病者を受け入れる中で、他病院のDMAT隊や消防・自衛隊・在日米軍など、様々な関係各機関の方々とは業務調整することの大変さを実感しました。しかし、訓練を通じて、傷病者のトリアージを行い状態の安定化を目標に必要な医療処置を行うこと、安定化した傷病者の搬送順位を決定し治療のできる病院へ広域搬送することを学びました。

今回の訓練を糧に、各関連機関との連携強化に取り組み、地域防災力の強化と防災意識の高揚をはかり、実災害時に活動できるよう訓練を行っていきたいと思います。



航空機への搬送風景



航空機

# 病診連携施設紹介

## おおくぼ総合内科クリニック

診療科目：内科／心療内科／消化器内科／循環器内科／呼吸器内科／糖尿病内科

院長 大久保 辰雄

もともとは外科の出身ですが、内科に転向し、2009年に開業して、8年になります。健康診断や在宅診療、経鼻内視鏡といったものも行いながら、かかりつけとしてなんでもみるというスタンスを守っています。認知症サポート医でもあり、在宅医療拠点事業の担当として介護導入にも関わりながら、なかなか病院では進められない分野の医療を積極的に行うようにしていますが、特に力を入れてとりくんでいるのは不定愁訴という問題です。こころとからだが複雑にからみ合って起こる多彩な症状に相對して、内科的な病気を見落とさないように注意深く診療を行いつつ、なおかつ心療内科の治療も並行して行うということはなかなかできる先生も少ないので、当院の重要なテーマです。忙しくてじっくり話を聞いてくれない先生が多いかもしれませんが、当院ではしっかり時間をかけて話を聞き、本人の病状と希望の整理をお手伝いするというのがやり方です。専門の病院で高度な医療を受け安定した状態にはなったものの、いつまた同じような高度な医療を受ける状態になるとも限らないのでかかりつけへの転医をためらわれている方や、複数の医療機関を受診して疲れ果てながら責任をもって総合的にみってくれる先生がいなくて困っているような方をしっかりみるということも目標としています。また、東戸塚の町の一員であることの方がクリニックの院長であることより上位であるという意識を忘れないように心がけており、町の一員として、地域の皆さんの健康維持にお役に立てればと考えながら院外でも活動しています。横浜市医師会の理事や、戸塚区医師会の副会長といった立場で、地域の他の医療機関の先生方や行政と関わりながら、地域の健康増進に役立つ立案、その実現に向けた体制作りなどを行っています。急に予定が入り診療をきりあげて会議に参加しなくてはならなくなってしまうことも増えているのが悩みの種ではありますが、それが来てくださる患者さんのためにもなることだからと信じて行っています。診療は予約制ととびこみ対応の2本立てとなっています。患者さん各人のストーリーを大切に、押しつけにならないように納得のいく診療を受けられるようにしていますので、お困りのことがあればご来院ください。



## おおくぼ総合内科クリニック

〒244-0805 神奈川県横浜市戸塚区川上町91-1  
モレラ東戸塚3F

TEL : 045-383-9805

ホームページ : <https://ohkubo-med.jp/>

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	—	○	○	○
15:00~19:00	○	○	○	—	○	○	—

【休診日】 木曜・日曜午後・祝日

平成29年10月1日～

	診療科	月	火	水	木	金
外来受付 A	小児科	鈴木 陽一	福山 綾子	小林 慈典	鈴木 陽一	塩谷 裕美
		宮田 直	鈴木 健	齋藤 祐	矢竹 暖子	矢内 貴憲
		小林 孝輔	王林 恩蘭	塩月 里恵	尾高 真生	池川 環
	心臓血管外科	盆子原 幸宏	休診日(手術日)	交代医師	休診日	西本 陸亨
	形成外科	休診日	村下 一晃	休診日(手術日)	村下 一晃	村下 一晃
整形外科	渡邊 竜樹	日塔 寛昇	渡邊 竜樹	日塔 寛昇	佐藤 雅経	
	久保田 聡	小林 秀郎	小林 秀郎	佐藤 雅経	久保田 聡	
	川村 正樹	日野 勝利	川村 正樹	井上 雄介	井上 雄介	
	堀 莉彩			堀 莉彩		
外来受付 B	総合内科	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師
	糖尿病内分泌内科	重松 絵理奈	重松 絵理奈	堤 優	原 洋史	小松 裕美子
		小松 裕美子		宇治原 誠		
	神経内科	渡辺 大祐	小林 絵礼奈	高橋 竜哉	多賀須 むつき	小島 麻里
	腎臓内科	松下 啓	前田 晃延	休診日	松下 啓	休診日
	呼吸器内科	後藤 秀人	増本 菜美	池田 秀平	休診日	榎原 基史
	消化器内科	野登 はるか (第1・3・5曜日)	内山 崇 (第1・3・5曜日)	塩賀 太郎 (第1・3・5曜日)	藤井 徹朗 (第1・3・5曜日)	山田 英司 (第1・3・5曜日)
		野中 敬 (第2・4曜日)	宮澤 志朗 (第2・4曜日)	小松 達司 (第2・4曜日)		
	循環器内科	岩出 和徳	森 文章	岩出 和徳	岩出 和徳	森 文章
	膠原病・リウマチ内科	井畑 淳	渡邊 俊幸	井畑 淳	井畑 淳	井畑 淳
	外科・消化器外科	清水 哲也	関戸 仁	坂本 里紗	関戸 仁	休診日 (手術日)
			太田 郁子 (乳腺外科)			
	呼吸器外科	休診日	橋本 昌憲	休診日	渡部 克也	渡部 克也
	脳神経外科	休診日 (手術日)	岡田 富 (第1・3・5曜日)	瓜生 康浩 (第1・3・5曜日)	休診日 (手術日)	市川 輝夫
		谷野 慎 (第2・4曜日)				
緩和ケア内科(ペイン・緩和)	小川 賢一	小川 賢一	休診日	小川 賢一	小川 賢一	
外来受付 C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	神川 文彰	佐々木 祐幸	神川 文彰	交代医師
	眼科	木村 正彦	秦 桂子	岡部 智子	木村 正彦	秦 桂子
		毛塚 由紀子	岡部 智子	山内 悠也	山内 悠也	毛塚 由紀子
	泌尿器科	柳澤 昌宏	平井 耕太郎	休診日	平井 耕太郎	柳澤 昌宏
		佐藤 元己	米山 梢子		米山 梢子	佐藤 元己
皮膚科	上田 喬士	上田 喬士	休診日 (手術日)	上田 喬士	上田 喬士	
	内海 友理	内海 友理		内海 友理	内海 友理	
外来受付 D	精神科	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師
	産婦人科	向田 一憲	奥田 美加	窪田 興志	栗杉 輝彦	鈴木 理絵
		永井 廉一	高山 智子	横澤 智美	岩田 亜貴子	平原 裕也
	産科	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)
	歯科口腔外科	休診日	根岸 明秀	休診日 (手術日)	根岸 明秀	休診日
		吉井 悠		吉井 悠		
専門外来 (予約制)	神経内科		頭痛外来 (第2・4曜日)			物忘れ外来
	膠原病・リウマチ内科			関節超音波		
	呼吸器内科					アスベスト外来 (第1曜日)
	脳神経外科			脳神経血管内治療外来 (畑岡 峻介)		
	放射線科	杉山 正人	杉山 正人	杉山 正人	幡多 政治	杉山 正人
	精神科	物忘れ外来				物忘れ外来

初診 受付：平日 8:30～10:30  
再診 (予約外) 受付：平日 8:30～10:30  
休診 日：土曜・日曜日・祝日・12月29日～1月3日

※予約変更・検診の予約については、14:00～17:00の受付となりますのでご了承ください。  
(TEL: 045-853-8316)  
※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)  
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)  
FAX 045-853-8356

※ 青色の枠の担当医 は、完全予約制となります。

## ◆編集後記◆

本号では、8月フィリピン国災害・救急医療担当の方の訪問、9月九都県市合同防災訓練参加の記事を掲載しています。9月にはメキシコで大地震が2度ありました。改めて災害拠点病院として災害に向き合わなければいけないことを痛感しております。被害を受けられました皆様に心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復興を切に祈念いたします。(K・S)